

【大学間協定留学】 留学報告書

| 記入日 | 2025年2月1日 |
|--|---|
| 明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等 | 経営学部 |
| 留学(渡航)した時の学年 | 3年生 |
| 帰国年月日 | 2025年1月8日 |
| 明治大学卒業予定年月 | 2026年3月 |
| 留学先大学について | |
| 留学先国 | アメリカ合衆国 |
| 留学先大学 | カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名) |
| 現地使用言語/ 授業使用言語 | 英語/英語 |
| 留学期間 | 2024年8月～2025年12月 |
| 留学先大学で在籍した学年 | 3年生 |
| 留学先の所属学部等 | <input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他: |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他: |
| 学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬 | 1 学期: 1月上旬～5月上旬 2 学期: 5月上旬～8月上旬 3 学期: 8月下旬～12月下旬 4 学期: ~ |
| 学生数 | 33,400人(学部生数) |
| 創立年 | 1868年 |

| 留学費用 | | | |
|-------------------|--|-----------|---|
| 留学費用項目 | A 現地通貨 (米ドル) (1 現地通貨 = 154 円) | B 日本円 | 備考 |
| 授業料 | 12,875 | 円 | |
| 宿舍費 | 10,962 | 円 | |
| 食費 | 50/月 | 円 | |
| 図書費 | 0 | 0 円 | |
| 学用品費 | 0 | 0 円 | |
| 携帯・インターネット費 | 15/月 | 円 | |
| 現地交通費 | 0 | 0 円 | (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費 | 50/月 | 円 | |
| 旅費(留学中) | 700 | 円 | ニューヨーク 5 日間 |
| 被服費 | 30 | 円 | キャンパス内のリサイクルショップを活用していました |
| 医療費 | | 円 | |
| 保険費 | | 円 | 形態: |
| 渡航旅費 | | 185,340 円 | |
| ビザ申請費 | | 3 万円 | |
| 雑費 | | 円 | |
| その他 | 0 | 円 | |
| その他 | 0 | 円 | |
| 合計 ※現地通貨 および 円 | 25000 (=400 万円) | 23 万円 | |
| 総計(A+B) ※円 | | 423 万円 | |

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

| 渡航経路 |
|---|
| 往路 出発地：羽田空港 目的地：オンタリオ 経由地：ホノルル 復路 出発地：サンフランシスコ 目的地：羽田 経由地：なし |
| 渡航費用 |
| ① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金： ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：ハワイアン航空 料金：111,030 復路 航空会社：ZIPAIR 料金：74,310 ∴合計：185,340 |
| 航空券購入方法 |
| <input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名：) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名：スカイチケット) <input type="checkbox"/> その他() |
| 滞在形態関連 |
| 1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前：International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ |
| 2) 部屋の形態 |
| <input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2) |
| 3) 共有部分 |
| <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可) |
| 4) 住居を探した方法： |
| 国際連携事務室にお勧めしてもらいました |
| 5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス) |
| アイハウスでの経験がこの留学の思い出の大半でした。ご飯が用意されているのは非常に有り難く、設備も申し分ないくらいだったと思います。特に交友関係の面では私にとってとても素晴らしい環境でした。アイハウス無くしては、このように充実した留学経験が得られなかったと思います。 |

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友達からの情報提供や大学からの情報メール

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

mint mobile の e sim を利用していたが、接続に問題はなかった。大学内では wi fi が利用できるが、建物の外だと繋がらないことがあったので、現地の sim を購入することをお勧めします。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の銀行口座を開設しました。基本的には日本の口座と繋がったデビットカードを利用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

特にないと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

クレジットカード、9月末と10月末にオンラインで支払い

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

| | | |
|---|--|--|
| 1) 留学先で取得した単位数合計 | | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 13 単位 | | <input type="checkbox"/> 未定単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2) 履修登録の時期・方法及び履修制限 | | |
| <input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 18 | | |
| 3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | | 履修した授業科目名(日本語) |
| Introduction to Public Policy Analysis | | 公共政策分析 |
| 科目設置学部・研究科 | public policy | |
| 履修期間 | 1 学期間 | |
| 単位数 | 4 | |
| 本学での単位認定状況 | 未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | |
| 授業形態 | 対面(チュートリアル、講義形式等) | |
| 授業時間数 | 1 週間に 120 分が 3 回 | |
| 担当教授 | Larry Rosenthal | |
| 授業内容 | 公共政策分析とアメリカの公共政策に関する時事問題について | |
| 試験・課題等 | グループワーク、読書課題と感想、定期試験 | |
| 感想を自由記入 | 好みが分かれる授業スタイルだと思った。公共政策を専門的に学びたい人には向いていると思います。 | |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| Organizations and Social Institutions | 組織と社会制度 |
| 科目設置学部・研究科 | Sociology |
| 履修期間 | 1 学期間 |
| 単位数 | 4 |
| 本学での単位認定状況 | 未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 対面(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 60 分が 3 回 |
| 担当教授 | Linus Huang |
| 授業内容 | 組織、社会制度の違いとそれらの構造、また変革の方法について |
| 試験・課題等 | 読書と感想、定期試験 |
| 感想を自由記入 | 情熱的な教授で初心者にもわかりやすいレクチャーだった。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|------------------------------|---|
| Cross-Cultural Communication | 異文化コミュニケーション |
| 科目設置学部・研究科 | Sociology |
| 履修期間 | 1 学期間 |
| 単位数 | 4 |
| 本学での単位認定状況 | 未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 対面(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 120 分が 2 回 |
| 担当教授 | Marina Romani |
| 授業内容 | |
| 試験・課題等 | エッセイ 5 回くらい |
| 感想を自由記入 | グループ課題やエッセイ課題が中心で、先生との距離が近かった。課題に時間がかかるので、スケジュールを考えて履修を決定すると良い。 |

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学と就職活動の両立は個人的には大変だった。モチベーションを保つ方法や強い意志を持つておくべきだと思う。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

| | | |
|----------|---------|----------------|
| 留学開始年の前年 | 1月～3月 | TOEIC 対策 |
| | 4月～7月 | TOEIC 受験 |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | 学内応募 |
| 留学開始年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | 渡航準備(ビザ、航空券など) |
| | 8月～9月 | 留学 |
| | 10月～12月 | 留学 |
| 留学/帰国年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

初めは何か大きな挑戦をしてみたいという漠然とした動機でトップユニバーシティ留学について調べ始めました。正直、直感やフィーリングで大学を選んだのですが、実際に留学生活を送っていく中でだんだんと自分の選択に自信を持ち、その理由やについて言語化できるようになっていきました。少しでも留学したいという気持ちがあったり、興味がある海外の大学があったりするなら、まずはチャレンジしてみることで自分の価値観への理解が深まり、多くの新たな発見に出会うことができると思います。留学は自分の力だけでは実現することが難しく、保護者や学校からのサポートが必要になると思いますが、もしサポートが得られるのであればその恵まれた状況に感謝して、最大限機会を活かしてみるといいかもしれません。